

研修概要

長門市立日置中学校

1 研修主題 主体的に取り組む生徒の育成～自ら考え議論する子どもの姿をめざして～

2 研修内容

(1) 地域貢献の推進と地域参加型授業

生徒会活動や総合的な学習の時間に、地域イベントや活動に参加し、地域での交流活動を通して、地域を知り、「ふるさと日置」のよさを見つめる時間を多く確保した。地域とともにある学校づくりを基盤にして、地域参加型授業の実践につなげた。



地域行事にボランティアとして参加

(2) 道徳教育の充実に向けた取組

① 思いやりの心を持ち、誰もが安心して過ごすことができる校内環境づくり

金子みずぶさんのコーナーを設置したり、行事や授業のようすを振り返り、価値づけることができるモニターを設置したりして、校内環境の整備に努めた。



金子みずぶさんのコーナー

② 「考え、議論する」授業づくり

生徒の実態や教材等を鑑み、学年で授業検討を行うとともに、ローテーション授業やTTによる授業を柔軟に実施した。

また、ユニット型研修会で、物事を多面的・多角的に捉え、自己の生き方についての考えを深める学習となるよう、発問の検討や教材分析を行い、指導案を作成した。さらに、ふり返りの共有や議論する手立てとして、ICTの活用を模索した。

(3) 授業実践

時期等		主な内容
①	5月31日	みずぶ学園研修会 公開授業 3年「ぶれない心」(廣済堂あかつき)【A-3】 授業者 教諭 峠田 敦子 2年「ジョイス」(廣済堂あかつき)【A-1】 授業者 教諭 津田 周平 1年「半分おとな 半分こども」(廣済堂あかつき)【B-7】 授業者 教諭 村岡 順子
②	6月29日	人権参観日 公開授業 指導助言 元下関市教育長 児玉 典彦 様 3年「誰かのために」(廣済堂あかつき)【D-19】 授業者 教諭 峠田 敦子 2年「君、想像したことある?」(廣済堂あかつき)【C-11】 授業者 教諭 竹下 泰司 1年「語りかける目」(廣済堂あかつき)【D-19】 授業者 教諭 松尾 禎子
③	11月22日	みずぶ学園研修会 公開授業 講師「菊池道場」主宰 菊池 省三 様 示範授業) 日置小学校・神田小学校4年生、中学校2年生 講演) 「子どもも教師も育つ教室づくり!みずぶ学園チャレン

		ジ」
④	12月1日	<p>校内研修（ユニット型研修） 公開授業</p> <p>3年「カントとルソー」(廣濟堂あかつき)【A-1】 授業者 教諭 清水 範正 指導助言 山口市立中央小学校長 末次 弘幸 様</p> <p>2年「路上に散った正義感」(廣濟堂あかつき)【C-11】 授業者 教諭 津田 周平 指導助言 近畿大学 教授 松岡 敬興 様</p> <p>1年「旗」(廣濟堂あかつき)【B-6】 授業者 教諭 大田ひかり 指導助言 長門市教育委員会指導主事 飯田 将之様</p>

3 成果と課題

(1) 成果とその要因

①校内研修を道徳科の授業で設定して、一人一授業を行い、年間3回の授業提供を行った。サポート委員も参加して、教材分析・教材研究や指導案検討を全教職員で行うことで、道徳教育への意識を高めることができた。



ユニット型研修

②保護者や地域の方に授業に参加していただき、意見交流する機会をもつことで、教員だけの研修では気づくことのできない提言をいただいた。

(2) 課題と改善案

①授業の板書画像を蓄積し、効果的な板書の研究を行うことで、授業改善に役立てるようにしたが、蓄積してきた記録を十分に活用できていない。今後、板書の内容、構成等について全教職員が共通実践すべきことを検討する必要がある。

②教材研究や発問の工夫を行ってきたが、自ら考え議論する子どもの姿には至っていない。議論が進むには、自分の考えを堂々と発言し、周囲がそれを受け入れる雰囲気づくりが不可欠であり、温かい人間関係の醸成が急務である。菊池省三先生の講話を参考に、全教育活動を通じて安心して発言できる学校・学級づくりをさらに進めていく必要がある。

③地域参加型の授業実践において、ふさわしい教材の選択、参加者の人選、事前打合せのあり方が課題としてあげられる。先進校の実践事例を参考にして、本校の実態にふさわしい形態を作り上げる必要がある。



菊池省三氏の示範授業

4 次年度に向けて

今年度は年間3回の公開授業を行い、校内の教職員だけでなく、

小中連携教育の組織である「日置みずゞ学園」でも研究協議を行った。

また、講師の先生から、議論の活性化を促す発問の工夫や、土台となる人間関係づくりについて、多くのご示唆をいただいた。今後、地域とのつながりを基盤に学校の教育活動全体をとおして、心の教育に力を入れ、安心して発言できる環境を整えていきたい。また、話し合い活動に焦点を当て、議論が深まるような工夫や手立てを考え、全校で共通して取り組んでいきたい。